

湿原に吹く 透明な風。

早朝、いくぶん肌寒さを感じながら、霧が立つ山道を歩く。
重い体を押し上げ、ようやく頂上に着く頃には、霧は晴れ、
大自然の蒼みによって醇化された風景が私たちの方の目の前に広がる。
どこまでも澄んだ水と透明な風。一面に広がる花の絨毯。
何度見ても信じ難い、神々しいまでのこの光景を見たくてここに来る。
塩川自然は、時に遙か遠く天上の世界を垣間見せる。